

2023年度 活動報告・2024年度 活動計画

放射線・線量委員会

2024年 6月 27日

放射線・線量委員会 委員長
長束 澄也

目次

1. 委員会の概要

2. 2023年度 活動報告

2.1. J-RIME(医療被ばく研究情報ネットワーク) 総会

2.2. J-RIME 診断参考レベルワーキンググループ

2.3. ICRP2023展示

2.4. MITA-XR会議

3. 2024年度 活動計画

1. 放射線・線量委員会の概要

～役割と基本方針～

- ・ 医療機器及びその関連機器の放射線・線量に関して、
放射線・線量管理の在り方の検討を行い、懸案事項に対する課題を明確化する。
- ・ 国内外の関係団体（医療被ばく研究情報ネットワーク、日本放射線技術学会、
DITTA/MITA、IEC/DICOM、・・・）
ならびに、当工業会関係部会・委員会、と連携し、課題に対応して行く。

2. 2023年度 活動報告

2.1. J-RIME(医療被ばく研究情報ネットワーク)第15回総会 (2023年5月開催)

- 放射線治療装置・核医学装置・放射線線量計防護に関する情報、X線診断装置の線量低減に関連する**国内外規格の動向を中心に**、以下の報告を行い、**ユーザと情報共有**した。

a) 通則及び副通則のJIS制定及び改正状況

b) 各種IEC規格の審議状況及びJIS作成状況

(X線CT,透視診断装置,IVRシステム,乳房X線撮影装置,歯科用X線撮影装置,X線防護材料,放射線治療装置)

2.2. J-RIME 診断参考レベルワーキンググループ

- 次期診断参考レベル改訂 (DRLs2025) のワーキンググループ (DRL-WG) に**、WGメンバーとして参加し活動中。

2.3. ICRP2023展示-1 (パネル、動画ビデオ、実物展示)



各部会・委員会と連携し、
以下の展示を行った。

① JIRAの紹介パネル

② 最新画像診断装置紹介

(5分間のビデオ、福島県立医大にて収録)

③ 放射線防護用品のサンプル

2.3. ICRP2023展示-2 (パネル、動画ビデオ、実物展示)



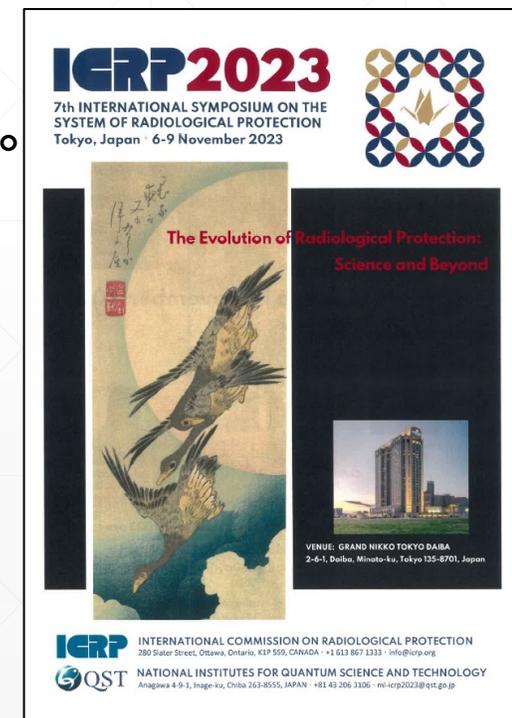
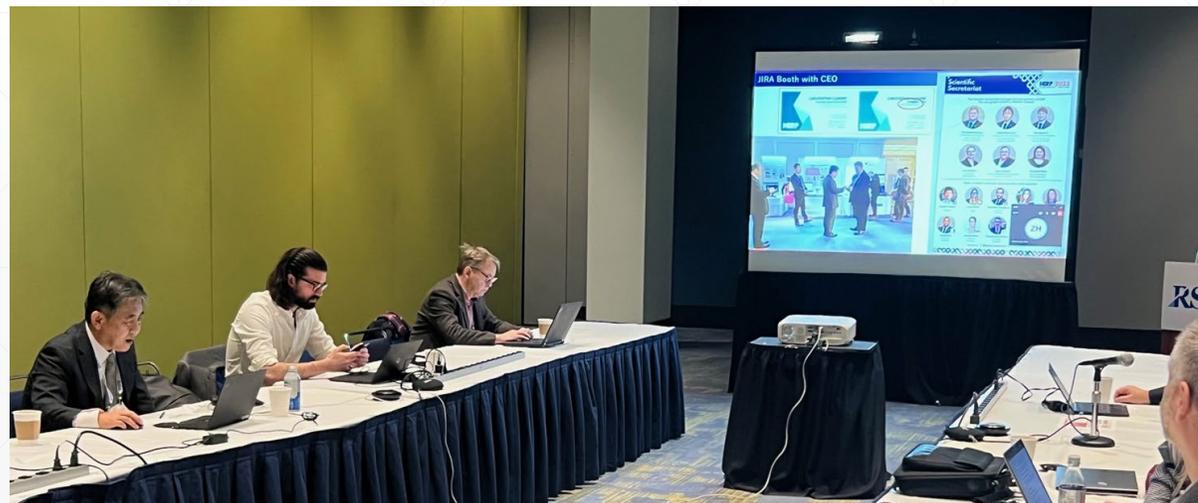
神田先生からいただいた写真

CEOの名刺

国内外の放射線防護関係者にJIRAプレゼンスをアピールし、
国内外の関係団体（ICRP、QST（量子科学技術研究開発機構）、・・・）との連携を強化した。

2.4. MITA (Medical Imaging & Technology Alliance、医療画像技術連合) -XR会議 (2023年11月開催)

- RSNA (北米放射線学会) 2023期間中にシカゴで開催されたMITA-XR会議に参加し、ICRP2023の結果概要を説明するとともに、**ICRP2023で流した動画 (約5分) をフル上映し、**欧米を中心とした参加者から高い関心を得た。
- **Japan-DRLs2025へ向けた検討**などの最新の取組みを説明した。



3. 2024年度 活動計画

- (1) 「データが変える医療」の実現に向けた環境整備
- (2) グローバル市場での競争力の強化
- (3) JIRA産業の振興と関連領域との連携強化
- (4) 線量管理・放射線被ばく防護関連情報の発信

・・・2023年度活動の継続を、

「JIRA画像医療システム産業ビジョン2030」に沿って進めて行きます。

ご清聴
ありがとう
ございました

JIRA

一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association